

---

# 赤いペイントゲーム

ユキヒロ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

赤いペイントゲーム

### 【Nコード】

N4806A

### 【作者名】

ユキヒロ

### 【あらすじ】

視線が合った気がした。大きい生物とは比べようのない小さな小さな生き物と。わたしは小さい生物を見つめ、ソレはわたしを見つめた。そんな気がした。

わたしはその小さな役目を終えると、最短距離で<羽を休める場所>に帰りたいと思った。

ガー…キュインキュ…ピー

波状の音を受け止めると瞬時に、わたしの中に入り込んでいる生物に理解できるよう訳しなおす。

「リーダーから各員へ…遅い夕食を楽しんでくれ、以上」

盗み見た生物の顔が綻んでいる。

それほど劇的ではなかったが、成果が上々だったからなのだろうか？

いつもながらに赤い斑点を体中に浴びた生物が、わたしの砲塔が火を噴くたびに作り上げられた。

その中でもとりわけ記憶に残っているのは、移動する大きい生物を中心角に置いた、同方向にひろがる扇形の森を把握した場面だ。空母で眠った振りをしていたわたし。その付近を、懐中電灯を片手に歩く生物達から噂は耳にしていた。

どうやら親戚の誰かが爆弾をこの辺りに投下したらしいのだ。人工的に作られたであろう扇形を見て合致した。ここだ！と。

砲塔が動き出すのを感じて生物に身を委ねる。操られているのだから仕方がない。

『逃がすものか　テロリストの系列めッ!』

視線が合った気がした。

大きい生物とは比べようのない小さな小さな生き物と。

わたしは小さい生物を見つめ、ソレはわたしを見つめた。そんな気がした。

きつと大きい生物の持ち方が悪かったのだろう、空中に踊りあがる小さい生物の姿がくつきりと映りこんでいる。それも赤い斑点を刻み込みながら。

「育児休暇、取れるかな？」

逐一記録された録画というモノを思い起こしていた中で、生物がわたしの透けた部位を仰ぎみて言った。

見当違いの方向を見ているぞ、とわたしは生物に叫びたかった  
真横には、数時間後に地平線に没するであろう夕日の姿があった。

あなた達には生産の限界があるはずだ！

今のうちにこの風景を記録に残しておくべきだ！

わたしの熱意が伝わったのか定かではないが、生物の視線が左へと動いた。

「この戦争が終われば…きつと……」

戦争とはどういうことなのだろう？ わたしはその単語をいまだに理解できないでいる

ピーン…ガー

気がついたときには、短い電子音を選んで発していた。意思疎通が出来るわけでもないのに。

しかし、この時ばかりはこちらの誘いに応じなかったのである。故障か？ と、話しかけてはくれなかった。

わたしは知っている この生物が同じ系統の生物を生みだすということを。

わたしは知っている 親類が生みだされる方が、生物よりも早いということ。

産み（生み）比べをして初めて解かるだろう。あなた達は。

違和感を覚えたときには手遅れだということに。

わたしたち戦闘機が空地を支配する。

これは宣戦布告だ

（後書き）

防衛費にもの凄い税金を充てる国があったとして、あなたはその国で働きたいと思いますか？ 私は嫌です。

まさに車に乗っている方限定の理屈ですね。ドライブなどで気分転換は出来ますが、特に仕事として使っている方はどうでしょう。ガソリン代がかさみます。結果、車屋のために働いているのではないかと、思ってしまう。それ以上の稼ぎを得ている方には許容範囲でしょうが。

守るってことは一体どういうことなのでしょう？ 争いがあってこそ意味あるモノでしょうか。日々モンモンとしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4806a/>

---

赤いペイントゲーム

2010年10月17日01時07分発行